



生涯学習だより

2024/ 6月号

ピウカ

発行
教育委員会

伝承遊学館

6月開館日

9日(日)・23日(日)

開館時間 午前10時～午後3時



COM100ギャラリー展示会

星空写真展

夜空のパレード

6月5日(水)から11日(火)

主催：美深町教育委員会 協力：なよろ市立天文台きたすばる



美深町史

ふるさとの駅から

廃駅シリーズ①<南美深駅>

美深の鉄道の歴史は、明治42年6月に名寄から恩根内間の延長工事が着手されたのが始まりとされます。機械力の無い時代に、わずか2年有余で工事は完了し、明治44年11月3日に美深、紋穂内、恩根内の3駅が営業を開始しました。

時代は流れて、地域での過疎化が進み、駅も次第に無人化されていきました。令和3年3月12日に南美深駅、紋穂内駅、豊清水駅が、令和6年3月15日に初野駅、恩根内駅が廃駅となりました。これまで6つあった駅のうち5つの駅は廃駅となり、残っている駅は美深駅のみとなりました。それぞれの駅の歴史は、地域の人たちには思い出が深く、歩みでもあります。

今回から、不定期シリーズとして名寄方面から廃駅となった5つの駅の旅に出発します。

■南美深駅

南・東地区住民の要望によって昭和31年7月1日、美深4線に国鉄「南美深臨時乗降場」が設置されました。昭和35年の年間乗降客は14万1,300人と記録されており、初野駅と同様に昭和34年11月1日に普通駅「南美深駅」に昇格しました。

語源は、美深駅の南に位置するため「南美深」と命名。

【参考文献：美深町史（平成23年刊）・美深ふるさと散歩】



昭和31年頃



廃駅前